

永明地区コミュニケーションデザイン(仕掛ける・つなぐ編)に基づく平成29年度事業計画

29.7.1現在

重点施策 子育てを支援する仕掛け	公民館事業 家庭教育学級	講座名	対象・内容	講師等	ねらい	開催予定
	家庭教育学級	えいめい・きょうあいう子育てひろば〈全6回〉	就学前の子どもの保護者(20名) ①ひとりではがんばっていませんか? ②ココロとカラダからのメッセージを感じよう③自分の体いたわっていますか? ④子育てはただわが子が子どもの人権⑤子どものこころ・親のこころ	共愛学園前橋国際大学 地域共生研究センター	核家族化や少子化が進み、子育てについて直接相談できる家族や友人がいない親が増加、一方でインターネット等により様々な情報があふれていることから ①子育てに必要不可欠な知識を学ぶ。 ②より良い親子関係を築く。 ③育児の不安やストレスを軽減する。 ④虐待を防止する。 ⑤地域での仲間づくりを図る。 ⑥共愛学園前橋国際大学と連携して取り組むことで、効果を一層高める。 ⑦男女共同参画講座および人権講座の一環とする。	6月7日～7月12日
	家庭教育学級	お父さんの子育て応援講座	就学前の子を持つ父親(20名) ～今親ができること～ ①これからの子どもたちに必要な力 ②忙しい毎日子育てにひと工夫 ③父親の子育ては夫婦関係のカギなど	共愛学園前橋国際大学 地域共生研究センター	核家族化が進み、育児における父親の役割はますます重要となっているが、依然として母親が育児を抱え込む状況が続いていることから ①父親の育児参画を促すため、父親が育児に関わる重要性、具体的な方法を学ぶ。 ②女性・子どもの人権の尊重につなげる。 ③男女協働参画社会を目指す。 ④本事業を効果的に実施するため、地元大学および城南公民館と連携して取り組む。	10月29日
	家庭教育学級	ほめて育てるコミュニケーション・トレーニング〈全4回〉	2歳から就学前の子を持つ親(20名) ①導入編(ほめる子育ての高義)②実践トレーニング編(良好な親子関係を築くためのコミュニケーション)③ウクレレ体験教室④実践トレーニング編(しつけを効果的に行うためのコミュニケーション)	子育て支援課 ウクレレまさんズ・三ツ葉楽器社長 託児協力:保健推進員会、つゆくさの会	核家族化や少子化が進み、子育てについて直接相談できる家族や友人がいない親が増加、一方でインターネット等により様々な情報があふれていることから ①子育てに必要不可欠な知識および具体的な方法を学ぶ。 ②より良い親子関係を築く。 ③育児の不安やストレスを軽減する。 ④虐待を防止する。 ⑤地域での仲間作りを図る。 ⑥体験教室を1回取り入れ、交流の機会とする。 ⑦地域の団体の協力をいただき託児を実施することで、保護者の学習機会の増加を図る。	11月8日、22日、29日(ウクレレ)、12月6日
	家庭教育学級	親子の絆づくりプログラム(BP)赤ちゃんがきた! ※男子禁制 〈全4回〉	2～5か月の第1子と母親(16組) 初めて子育てをするママを対象に、これからの子育てに必要な知識を学んだら、仲間づくりや親子の絆づくりを応援する参加型プログラム。	子育て支援課	同上(⑥、⑦を除く)	来年2月1日、8日、15日、22日
	家庭教育学級	子育て支援講座「託児の心得」	家庭教育学級託児協力者及び一般市民 ・託児を通じた子どもの成長 ・子どもと接するときの注意点 ・保護者のコミュニケーション	幼児教育アドバイザー(幼児教育センター)	家庭教育学級の託児協力者および興味のある人に託児に関する知識を深めてもらう。また、子どもの成長にとって託児が重要であることを学んでもらう。	9月19日

重点施策	公民館事業	講座名	対象・内容	講師等	ねらい	開催予定			
各年代のニーズ に対する仕掛け	少年教室	子ども夏休みステーション (夏休み中10日間)	子ども料理教室 低学年コース 高学年コース (各24名)	食生活改善推進委員会	《全教室共通の目的》 ・夏休みを利用して、学区区や学年が違っても違 が集まる機会を設け、地域の子ども達の仲間づく を図る。 ・体験学習を通じて、児童の好奇心や探究心を育 むとともにコミュニケーション力の向上を図る。 【絵画教室・キッズダンス】 ・公民館利用グループを講師とすることで、学習の 成果を地域へ還元することを目的とする。 【環境・サイエンス・工作・料理・食育・おはなし会】 ・地域の人材、団体、NPOを講師とすることで、地 域の人材活用を目的とする。 【夜のおはなし会】 ・子どもたちに絵本の面白さや楽しさを味わってもら い、読書への関心を高める。また、停本所の利用 促進も兼ねる。	7月27日・8 月3日			
			夏休みサイエンス教室=3種類のス ライム作成 (30名)	NPO教育支援協会北関 東		7月28日			
			子ども環境教室(昆虫・自然観察) 場所:ぐんま昆虫の森 (23名)	ぐんま緑のインタープ リーター協会 亀井顧問		8月1日			
			宿題おたすけ 工作教室 (25名)	NPO教育支援協会北関 東		8月4日			
			宿題おたすけ 絵画教室 (30名)	水彩画クラブ		8月8・9日			
			親子の食育教室 (12組)	食生活改善推進委員会		8月17日			
			夜のこわいおはなし会 (30名)	駒形読み聞かせの会		8月21日			
			はじめてのキッズダンス 低学年コー ス/高学年コース (各20名)	ジムナ永明		8月23日			
			女屋町公民館 (40名)			女屋町公民館 (40名) 駒形町会議所 (40名) 原町自治会館 (40名) 永明公民館 (80名) 【公開】	・ラフターヨガの笑いながらの呼吸法を取り入れるこ とにより、ストレス解消や健康増進に役立てる。 ・生きがいづくり、仲間づくりの機会とする。 ・会場別で開催することにより、公民館まで来館し にくい距離に在住の方の参加を促す。	9月12・14・ 15・27日	
			駒形町会議所 (40名)	群馬ラフターヨガクラブ					
			原町自治会館 (40名)						
			永明公民館 (80名) 【公開】						
			高齢者教室	[健康] 腸内からの健康づくり [健康] 腸内からの健康づくり (料理実習) ちよっとひととてま元気ごはん! [安心安全] 交通事故から身を守るう		女屋町公民館 (40名)	群馬ヤカルト販売管理栄 養士	・健康づくりを考える機会とする。 ・生きがいづくり、仲間づくりの機会とする。 ・会場別で開催することにより、公民館まで来館し にくい距離に在住の方の参加を促す。	9月5・7・8日
						駒形町会議所 (40名)	食生活改善推進委員会	食生活改善推進委員会提供のレシピを学んでいただ くことで、より豊で健康に通じる食生活に寄与するこ とを目指す。	
原町自治会館 (40名)		交通事故から身を守るすべや高齢者の自動車運 転上の注意などを学び、交通安全啓発を目的とす る。							
永明公民館 (80名) 【公開】	市交通対策課								

重点施策	公民館事業	講座名	対象・内容	講師等	ねらい	開催予定
		[介護予防] 認知症予防・頭の体操	永明公民館 (50名)	県民健康科学大学	認知症の発症時期を遅らせることについて学び、簡単なゲームで認知機能の向上を目的とする。	9月13日
		[IT実習] タブレット体験講座	永明公民館 (15名×2回)	㈱ジーシー・スタッフ	・インターネットを媒体とした情報収集や発信について学ぶ。 ・自然災害の増加や超高齢化社会も見据え、誰もが情報受取・発信ができることで、安心して暮らせる地域を目指す。	9月26日
地域ブランドを 活用する仕掛け	地域づくり講座	[野外学習(バス見学)] 『郷土前橋を知ろう!』 こどもウクレレ教室	サンデンフォレスト、粕川歴史資料館、ぐりーんふらわー牧場 (3日間) 小学生・中学生・高校生(20名) 幅広い年代の地域住民に前橋産のウクレレに関心を持ってもらうため、夏休みを利用して、高校生以下の子どもたちを対象に体験講座を実施する。	各40名(計120名) 永明ウクレレ教室、三ツ葉楽器㈱	・生がいくつくり、仲間づくりの機会とする。 ・郷土前橋に対する愛着の醸成を図る。 ・製造量日本一を誇るウクレレ製造会社が地区内に存立することから、前橋産のウクレレを地域資源として活用し、「ウクレレのまち」としての地域ブランドの振興を図る。 ・学習グループ会員に講師を依頼することで、学んだことの地域還元を図る。	9月20・21・22日 8月18日
	地域づくり講座	古文書から郷土を知る(古文書の保存と解読)	一般(20名) 共愛学園大学と連携し、永明地区内に眠っていた古文書を掘り起こし解読する講座を行い、地域の歴史を学びたいという住民要望に応える。 (昨年度に続き2回目の開催)	共愛学園前橋国際大学 地域共生研究センター	・東上野町所有の古文書を活用し、公民館、地域住民、大学が連携して貴重な歴史資料の保存につなげる。 ・古文書を保存・解読したいという地域の要望に応える。 ・地域住民の自主的な歴史資料の保存や解読の活動につなげる。 ・郷土の歴史を学び興味を深めることで、郷土への愛着を深める。	8月29日、30日
	世代間交流事業	[料理実習] 郷土料理「おきりこみ」	多世代が共同参加する料理実習(12組)	食生活改善推進委員会	郷土料理である「おきりこみ」を、多様な世代が交流しながら協力して調理し、郷土食の見直しを図る。	2月10日
地域の人材をつ なげる仕掛け	地域づくり講座	防災講座【共催】 (地域づくり協議会主催事業との連携)	各町自主防災会ほか(定員100名) 永明地区は桃ノ木川・広瀬川・葦川による浸水想定区域に指定されていることから、台風や豪雨など異常気象への対応を学び、住民の防災意識の向上を図る。	前橋市危機管理室	九州北部豪雨など想定外の風水害が増加する中、災害に対する住民の知識を深め、自助力の向上を図ると共に、災害に関する情報に触れる機会を増やし、災害に対する備えへの興味・関心を喚起し、かつ共助力(地域力)の向上を目指す。	8月31日
	セカンドライフセミナー	パソコン講座(2回:初心者向け)講座、中級者向け)	共愛学園大学パソコンルーム借用(学社連携型講座) パソコンスキルの高い大学生の指導の下、ワードの基礎、タイピング、インターネットの基本などを学ぶ。	共愛学園前橋国際大学の現役大学生	講座で得られた知識・技能を、自治会など地域活動に還元することを目的とする。	9月コース 2月コース